



コミュニティ・スクールとは？

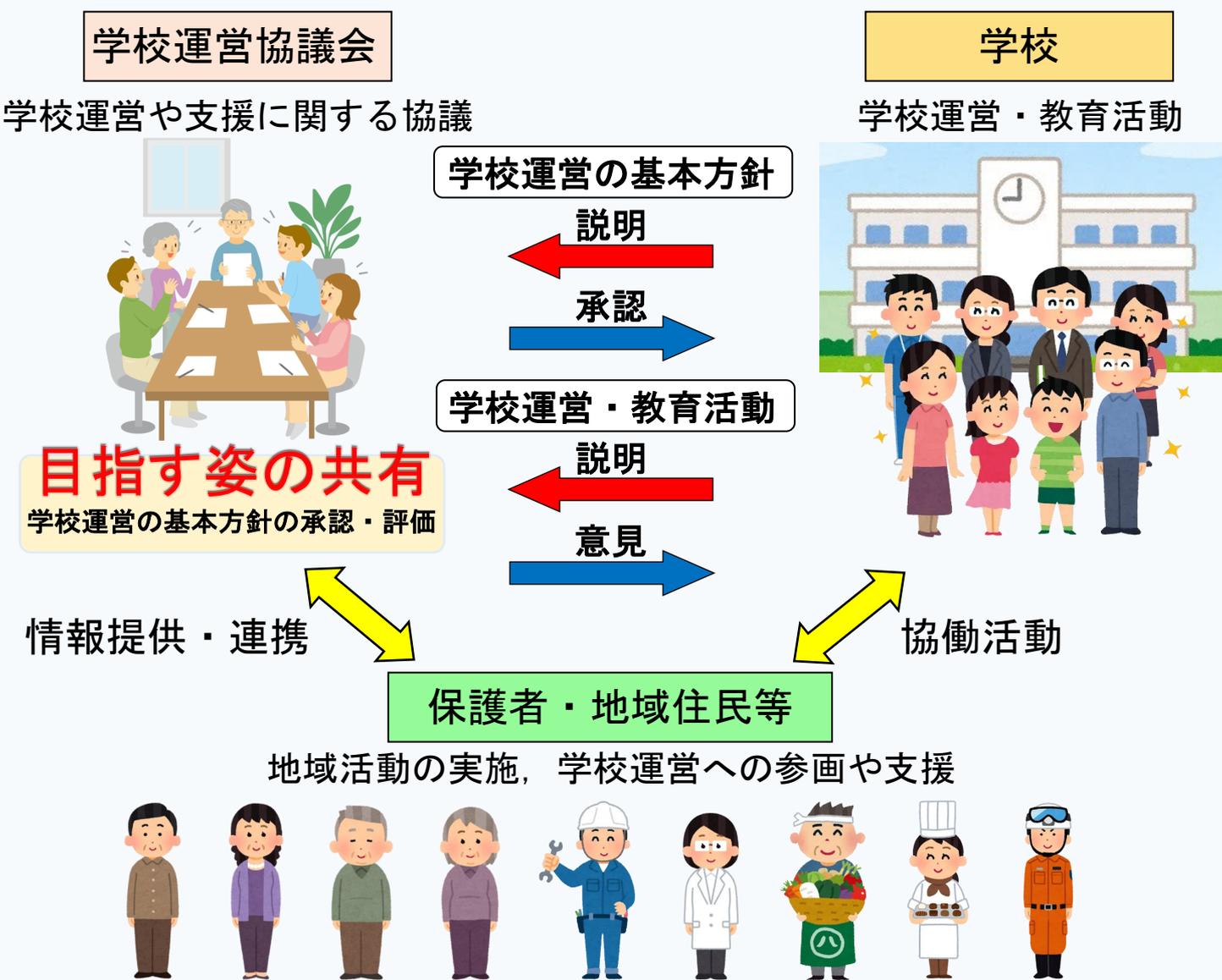
鹿児島県では、学校と地域住民の連携・協働を進め、一体となって子供たちの成長を支えていく体制を構築し、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を推進するため、県立学校にコミュニティ・スクールを導入します。

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を置く学校であり、学校運営協議会とは、法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限と責任を持って、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関のことです。

各学校に学校運営協議会を置くことで、学校と地域がビジョンや課題・情報等を共有し、地域と連携・協働した取組が活発になります。また、地域や企業、団体等による組織的な支援体制が構築されることで、教職員が異動してもその取組が継続されるといったメリットがあります。

コミュニティ・スクールのイメージ

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進とは？

地域学校協働活動とは、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

学校運営協議会において、学校運営への必要な支援について協議が行われ、その結果を踏まえて、円滑かつ効果的に地域学校協働活動を行うなど、一体的な推進が重要です。

【地域学校協働活動の例】

- 学びによるまちづくり・地域課題解決型学習・郷土学習
文化芸能学習，職場体験学習，地域活性化施策のための企画・実施
- 地域の行事，イベント，お祭り，ボランティア活動等への参画
地域イベントでのボランティア，小・中学校等との交流や出前授業など
- 学校に対する多様な協力活動
花壇や通学路等の学校周辺環境の整備，授業の補助や部活動の支援など



コミュニティ・スクールの魅力

子供にとっての魅力



- 学びや体験活動の充実
- 自己肯定感や豊かな心の育成
- 地域の担い手としての自覚

保護者にとっての魅力



- 子供たちが地域に育てられているという安心感
- 保護者同士や地域の人々とのつながりの構築

教職員にとっての魅力



- 地域の理解を得た学校運営
- 地域による教育活動の支援
- 子供と向き合う時間の確保

地域にとっての魅力



- 地域の振興・活性化
- 地域行事や伝統文化の継承
- 自己有用感の向上

全国を取組例

- ・ 企業や大学等の専門性を生かした出前授業
- ・ 地域の資源を活用したフィールドワーク
- ・ 生徒募集や進路指導に関する意見交換
- ・ 地域行事の運営・参画
- ・ 地元特産品を活用した商品開発
- ・ 地元小・中学校との交流
- ・ 学校行事や環境整備等の学校支援
- ・ 地域と連携した防災教育

コミュニティ・スクールについて、より詳しく知りたい方へ

- 鹿児島県教育庁社会教育課「みんなで作る学びの未来サイト」
(<http://www.pref.kagoshima.jp/ba07/cstiikigakkoukyoudoukatudou.html>)
- 文部科学省
(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/community/)
- 学校と地域で作る学びの未来
(<https://manabi-mirai.mext.go.jp/>)

